

会議録（会議結果概要）

名称	第3回 各務原市総合計画審議会
開催日時	令和5年9月1日（水） 13:30～15:30
開催場所	各務原市役所 本庁舎 4階会議室4-3・4-4
出席者	北角浩一会長、富樫幸一副会長、柴崎建委員、平野華織委員、阿部雄介委員、井戸輝雄委員、宇野貴昭委員、可兒正則委員、近藤亜矢子委員、篠田勲委員、中野正勝委員、福島茂委員、松浦知恵委員、森田宏委員、横山浩之委員、和智陽子委員、河合正嘉委員、五明竜也委員、鶴飼明男委員、江口佑美委員、亀井篤委員、林佳廣委員、別宮理恵委員、吉田明弘委員 ※欠席者：酒井聡委員
議題及び審議・協議結果等の概要	<p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 次期総合計画 基本構想（素案）について 3 その他 4 閉会
	<p>1 開会 事務局より説明</p> <p>【副市長】</p> <p>本日は第3回の総合計画の審議会にご臨席を賜りましてありがとうございます。まず初めに、水道の問題については、われわれどもの公表が遅れ、誠に申し訳ありませんでした。今、全力で数値を下げる対策をしておりますが、われわれだけでできることには限界があるため、市長が、今日、東京に参りまして、厚生労働省や環境省、関係省庁に技術的知見の確立、あるいは財政支援の要望に回っています。一日も早く市民の皆さまの不安を払拭できるように対策を進めてまいりますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>本日は、総合計画について、前回、第2回の際に皆さまからいろいろな、さまざまな角度からご意見をいただき、その後、市議会にも議論いただいて、それらを全てできるだけ反映させて基本構想の素案をまとめました。1週間後の9月8日金曜日に答申としてまとめていただくべく、本日、実質的には取りまとめの議論ということになるかと思いますが、また忌憚のないご意見をいただきまして、闊達なご議論を賜ることができればと思っておりますので、本日はどうぞよろしく願いいたします。</p>

2 議事

(1) 次期総合計画 基本構想（素案）について

《事務局より説明》

《質疑意見》

【委員】

- ・PFAS（有機フッ素化合物）の問題はなぜ発生したのかの着眼点で見ると、「基本目標」の5が厚生労働省の分野で、7が国土交通省の問題だと思うが、これが一体となって市政、行政を進めていく必要がある。現在の総合計画との違いを設けていかないと、今回のような問題が起きる懸念があると思う。
- ・「基本目標」の5と7は、「みんなが快適に暮らせる住みよいまち」で横串を通してある感じも受けるが、7は国土交通省の所管の分野で、インフラに特化している。ここは健康で快適に暮らせるとか、健康とインフラを結び付けておいたほうがよいのではないかと思う。そのほうが実施計画との関連性が整理しやすいのではないか。

【事務局】

- ・まず「基本目標」は、2行程度で説明文を加えさせていただいた。基本目標5の説明文には「生涯にわたって健康でいきいきと幸せに暮らせるまちを目指します。」と記載している。基本目標は9つに分けているが、横の施策間のつながりを持って進めていく、それを基本計画や実施計画で具体的に記載をしていきたいと思っており、それは現行の計画でも変わらない。
- ・「つながりづくり」には施策間のつながりも含んでおり、それを強化していこうということで、現行の総合計画から進んだ新たな将来都市像や基本目標が掲げられていると考えている。

【委員】

- ・進め方としては、「序論」から順序立てて確認していただいたほうが流れ的によいのではないかと思う。
- ・「序論」で、「人口減少社会の中にあっても持続可能なまちをつくる」の記載があるが、市民、自治会、各種団体、NPO、企業、行政が連携しここを軸として人口減に取り組む必要がある。移住と若い人の定住が人口減に一番有効と思うので、その中には、移住、また今後IT人材も減少するかもしれないので各務原市の産業の記載も入れて、持続可能なまちを目指すのがよいのではないか。

【委員】

- ・将来都市像は、言いやすい、覚えやすい、目に入りやすいほうがキャッチフレーズ的によいのではないか。

【会長】

- ・1行増やして、最初の一言の「もっと」だけ上に持ってくるのはどうか。

【委員】

・「2040年頃の社会経済情勢の展望」の「自治体行政」のところは、国や各務原の財政が基本的に総合計画を進めるためのベースになるので、歳入減の記述も併せて重要だと思う。

・「みんな」が強調されているが、現実を直視するために指標にも市民参画がどの程度なされているのかは認識をしておいたほうがよいのではないかと思う。

・人口フレームは14万人を維持する場合、今までの政策をさらに変えていくことが必要で、市としての基本姿勢を明確にしておいたほうがよいのではないかと思う。それは財政、選択、集中の話と関わってくるかもしれないし、実施計画、基本計画でよいかと思うが、戦略的に、統合的に政策を運営していくことによって相乗効果を高めていく等を明記するほうがよいのではないか。

【委員】

・市議会の総合計画の特別委員会は何人で構成されて、どのような仕組みで進めていくのか。

【事務局】

・議会の特別委員会は8人で構成されており、議会として次期総合計画の策定に関して調査していくものである。

【委員】

・本審議会で意見が出て修正したものから、また特別委員会で修正案が出るのか。

【事務局】

・今日の審議会の内容を受け素案は修正させていただき、特別委員会で説明することになる。

【委員】

・特別委員会で修正が出た場合、再度審議会で修正するのか。

【事務局】

・審議会では答申をもって基本構想の審議は終了になり、議会の特別委員会からもご意見等をいただき、最終的には市として基本構想の案をまとめる。

【委員】

・特別委員会に提示したものは審議会全体には反映しないのか。

【事務局】

・基本構想は市議会の議決事項で、議案として議会に提出する形になる。

【委員】

・市議会議員は市民、地域の代表で、本審議会委員も各方面の代表であり、どちらを重んじているのか。絶対に市議会を通す必要があるのか。

【事務局】

・市議会は絶対に通す必要がある。

【委員】

・意見を聞くぐらいではなく、通して議決までいく必要があるということか。

【事務局】

- ・総合計画は、条例で基本構想と基本計画は議会の議決事項になっており、議会に出し審議が必要となる。

【委員】

- ・「各務原の良さ・強み」の「豊かな自然」のところで、可能であれば、例えば公園面積の市の面積に対する比率、岐阜県内での順位等、良い点はPRしてよいのではないか。
- ・「防犯・防災」では、人口10万以上の都市の中でみれば、安全・安心なまちといえるのかも見ていただき、良いといえるならそれがわかる記載があるといい。また、「出産・子育て・教育」についても保育所の待機児童ゼロ等、人口減少に関わることであるため、よいまちだと分かる情報があればいれられるとよいと思う。
- ・「県下ナンバーワンのものづくり」では、各務原の2つの大学で工学系やIT系の学部を設置し、地元の大学に入学して地元で活躍してもらい一貫した人材育成をしていくということも盛り込んでどうか。また、産業が基盤のまちなのでこれからの産業を強くするというので、航空宇宙や自動車産業がベースとしてあるが、未来産業にも記載していただくと、将来も大丈夫と思ってもらえるのではないか。
- ・内容のなかで一番訴えたい部分には、市民の理解のためにイラスト、絵を入れていただいたほうが読みやすくなるのではないか。

【委員】

- ・「基本目標」には、ある程度重点的、優先的な項目がある気がするがいかがか。
- ・各諸団体からの課題、将来的な社会情勢の変化は記載されているが、各務原市の現在の問題認識が、どこかに簡潔に書いてあると分かりやすい。

【事務局】

- ・人口減少、少子化対策が最大の課題とっており、基本目標2で「出産・子育て・教育」という基本目標を掲げている。基本構想の基本目標の段階では、優先するものは特になく、基本目標1から基本目標9のそれぞれが非常に重要で、この9つに集約して目標を掲げている。基本計画や実施計画という具体的な施策、事業になると、全ては難しいので、優先順位を付けながらとなるかと思う。
- ・良さ・強みは7ページで整理したが、現状の問題認識は「2040年頃の社会経済情勢の展望」のところで10年先の本市の状況を記述しているが、人口的にも厳しいところは出てくるかと思うので、将来的に課題があると認識をしている。

【委員】

- ・今のご説明でよいとは思いますが、分かりにくい印象がある。

【委員】

- ・ 9つの基本目標があるなかで、前回の資料では、基本目標5《健康・医療・福祉》となっていたものから、今回のものでは「医療」が抜けている。病気になったときに「健康」のためにといわれるより、「医療」という言葉があったほうが、何かあったときに病院に頼ることができるというところが各務原は充実している、確実に病院にかかれるというイメージは前回のように「医療」の記載があったほうがインパクトはあったとは思いますが、今回「医療」を消された理由は何か。

【事務局】

- ・ より分かりやすく整理しようとして、「医療」は「健康」に含まれるかと思った。それだけの理由なので復活させる。「健康・医療・福祉」のほうが、より市民に伝わりやすいということだと思うので、修正前の「健康・医療・福祉」に戻させていただく。

【委員】

- ・ 「医療」のほうが伝わりやすいかとは思った。

【委員】

- ・ 「医療」はぜひ入れていただいたほうがよいと思う。
- ・ 基本目標7で、インフラだけではなく「快適に」の前に「健康で」を入れていただいたほうがよいと思う。

【会長】

- ・ 皆さま方のご意見を取りまとめ、答申にまとめていきたいと考えている。
- ・ 基本構想については、おおむね妥当であると市長に答申をしたいと思うので、答申に当たっては審議会の意見を付したいと考えており、皆さま方のご意見をお聞きしたいと思う。まず、ご意見がある方から願います。
- ・ この構想あるいは計画に、どのようなことを期待しているか、どのようにまとめていってほしいか、どのような市になっていくことを期待しているかということ、順番に一言ずつご発言をいただきたい。

【委員】

- ・ 審議会の委員になり議論の経過として多様な意見の中で一つ一つの言葉が決まってくることが分かり、今後の他の計画作りに反映していきたいと思う。
- ・ 総合計画を作るにあたって市民の皆さま方や中高生のワークショップ等のご意見も取り入れながら、市民の声を反映させていきたい。
- ・ アンケートに回答することも1つの市民参加、住民参加であることを市民の方にもわかっていただくことが大切だと気付かされた。

【委員】

- ・ この総合計画に沿って新しく何か動きを変えていき、新しいことを取り組んでいかないと、現状のまま、もしくは少し衰退していってしまう。皆さま方がそれぞれのフィールドに帰って、これを基に新しく何かいろいろな動きを起こして行って、この計画が求めるまちになっていくことに尽力していくことができ

ればよいと思う。

- ・子供たちや子育て中の親への支援が充実しているまちも多く出てきているが、周りの他市での取り組みや支援は各務原市でも必ずできるはずだと思っており、皆さま方と一緒にやって取り組んでいけたらよい。
- ・「各務原の良さ・強み」で「ホッケー王国」とあるが、ホッケーをする子供たちも少なくなっている現状で、ホッケーだけの話ではないがスポーツは子育てにおいて大きな役割や効果があると思うので、強みで入れるのであれば、子供たちがスポーツなどを通して健全な学び、成長していくことも記載するとよい。

【委員】

- ・この計画書を手に取った方々が、一目で入ってくるものを作らないといけないと思う。
- ・10年先の未来の各務原市に生きるようなものができればよいと思う。

【委員】

- ・子育てしやすいまち、未来が明るいまちになってほしい。
- ・皆さま方が手に取って見てみたいと思うような大きな夢と志を、緻密に考えた上で、基本計画や実施計画につながりやすくして、みんなで同じ方向を向けるような、シンプルにわかりやすくキャッチーなものができると皆さんに伝わりやすいのではと考えている。

【委員】

- ・市議会の特別委員会にも提案してすぐに内容を修正するのではなく、改めて本審議会でも議論できたらよいと思っている。
- ・大綱については、こんな程度で十分だと思う。

【委員】

- ・市民協働の概念の中には、市民だけではなく民間も入るか入らないかは方針として記述を入れておくのがよいと思う。基本目標の1と9、どれをどのようにして目標を実現するかに関わる場所である。市民と行政、加えて民間をどう位置付けるのかは、総合計画、基本構想のスタンスにつながるの、特に明記しておいていただければと思う。

【委員】

- ・10年の計画なので、柱になるものだと思う。その中では安全・安心、さらに従来からの課題や新しい課題の解決に、どのような形で向かっていくのかを明確に示していただけるものだと思う。
- ・マスコミだけでなく、SNSはじめ、市民の方に認知してもらい情報発信にも取り組んでいただくとよりつながるのではないかと、よい方向にいくのではないかとと思う。

【委員】

- ・最終的には冊子になるのか。市民の方も、より把握できて、もっと周知できる

ような形が望ましい。きれいな、見ているだけで本当によいところだと思うような内容が書いてあるので、実際に10年後にそのようなまちになれるよう私たち各団体も頑張っていかなければいけないと思った。

【委員】

- ・具体的な部分となる実施計画がこの目標に基づいたものになるよう期待している。

【委員】

- ・日本語を話せない方が困っている状況があるので、「みんなで支えあい健やかに暮らせるまち」のところで、「子ども、高齢者、障がいのある人もない人も」の中に、海外の方の記述も入れられたらと感じた。

【委員】

- ・いつまでも住み続けたいまちということなので、未来を担う子供たちのための長期計画にしたいと思う。
- ・各務原市の方、特に市役所の方等が奮闘されて「各務原市の闘い」ということで素晴らしい成果を上げられた『よみがえる地下水』という本があり、そのような歴史の教訓を踏まえてほしい。
- ・他の自治体のことも気に留めていただきたいと思う。
- ・計画作成時には、ステークホルダーとのオープンな議論の場を設けて、合意形成のプロセスを踏んだらどうかと思う。

【委員】

- ・もう少し掘り下げていった段階で意見交換の場が頻繁に持てるとよいと思う。
- ・人口が減らないための施策は、キャッチコピーにもある「もっと みんながつながる 笑顔があふれる」は何に寄与するかで分かると思う。それが住みやすさ、その地域の癒やし、活力につながるので、人の流出がなくなる、そこで次世代を育てたい、子供を産みたいという、そのような回転が出来上がっていく仕組みの中でこの将来都市像が見えてくると思うが、そのような認識で大丈夫かを確認させていただきたい。

【事務局】

- ・今後、本審議会では基本計画の検討に入るので、引き続きよろしく願います。
- ・この総合計画では一番に人口減少対策を掲げているので、これまでの取り組みだけではなく、さらに少子化対策等の取り組みも進化させていかなければいけないと思っている。そういった取り組みを通して、今、掲げようとしているこの将来都市像、「めざすまちの姿」の最終形として「笑顔があふれる 元気なまち」を目指していきたいので、それに向けてループしていくと思う。

【委員】

- ・過ごしやすく、住んで、働いて、そして遊べるという、24時間各務原市にいてもよいまちを目指していきたいのがこの基本方針に盛り込まれていると思うので、1つ1つ大事に、これを広げていきたい。

・近隣の市町からも各務原に働きに来ている方が多いので、各務原市で完結するのではなく、隣の市町との連携もこれから伸ばしていければよいと感じた。

【委員】

・死亡数と出生数の差が広がっている中で、転出数は変わらないが、転入数が去年と比べて1,100人ぐらい急に増えており、特殊要因があったのか。もしそうであれば、人口目標の推移の前提条件に影響があるのかと思った。

【事務局】

・要因分析は行っていないので、あらためて検討させていただく。

【委員】

・ITについて、行政から支援、誘致などバックアップしていただいて、周りのスマートシティ化に遅れないように、各務原も住みやすいまちだといわれるようになっていくことを希望している。

【委員】

・今までは総合計画というのは、市、行政からの一方的な感じをもってしたが、今回は、市民全員が関わりながら取り組んでいくことを感じさせ、非常にインパクトが強かったと感じている。

・基本計画、実行計画は、5年、3年で見直すのが、世の中の状況がめまぐるしく変わっていくので、総合計画の基本構想を常に頭に置きながら臨機応変に展開していったほしい。

・「めざすまちの姿」が「みんながつながる」「笑顔があふれる」「元気な」でくくられているが、例えば、他の市町や県等と比較し、各務原市が他のエリアからどのようなイメージで見られているのか、あるいは各務原市の市民が各務原市に対してどのようなイメージを持っているのかは非常に大事だと思うので、議論をさせていただけるとよかったと感じている。

【委員】

・この内容が基になると思うが、これにこだわり過ぎず、10年で中身が変わってくる可能性もあるので、必ず状況を見据えながら進めていただくことが非常に大事だと思っている。

・アンケートの回収率が少なく、市民の声が反映されていると感じない。アンケートの回収率が上がってきたときに、初めて総合計画も生きてくる可能性も出てくるかと思う。

【委員】

・総合計画が最上位計画で、この将来都市像の下にいろいろな計画がひも付いていることが一目瞭然に分かるものがあると、より市民、私たち関係者、職員にも伝わりやすいと感じた。

・人口減少に対して高齢化率が大変だが、何ができるのかをそれぞれの計画の中で具体化していく必要性が、大きな問題に対してはあるのかと感じている。

・市民やいろいろな団体があって組織が成り立っているのだから、既存の団体をうまく

く活用して、生かしていく連携やつながりづくりは必要だと再確認した。

【委員】

- ・高齢者の立場から、どのようなまちであってほしいかという、健康で安全で安心して暮らせるまちである。9つの基本目標は全てこれにつながる。まずは自分たちが健康であるということである。
- ・計画というと、管理していくことが必要であり、つまり PDCA を回すことが必要である。Do の結果を出したときに 100 のうち 30 しかできていないということでは次の段階に回す手段がないので、自分たちにどのような課題があるのか、それをみつけて早く PDCA を回しながら進めていくことを求められる。
- ・これが実際に実行されて、よいまちになって人々が喜んで暮らせるまちになることを希望している。

【委員】

- ・総合計画を市民の皆さま方が見たときに、わかりやすく、理解しやすいものが一番だと思う。
- ・元気で暮らせる元気なまちができるとよいと思っている。

【委員】

- ・市民の皆さま方が手に取って見てみたい作り方をしてもらいたいと思う。そしてこの政策と一緒に取り組んでいくと感じてもらえばよいと思う。
- ・一番の課題は将来の人口の展望の部分だと思う。、政策にしていくとき、この言葉がどのように施策となっていくのか、具体化する取り組みをしていただきたいと思う。

【委員】

- ・自分たちが住んでいてよいと思わなければ、他から来るとは思えない。市民としてもより良い地域となるようにこれから考えていきたい。

【副会長】

- ・実際に住んでいる市民の人たちの暮らし方、実感、これからどのようにやっていこうとかが、総合計画にうまく生かされるとよいと思う。
- ・計画書の表紙にも、頑張っている活動している写真を入れてもらえないかと思っている。難しいまちづくりの中で、動いているところ、それが5年後、10年後、どうなっていくか、計画のベースにはこれがよいと思うので、これからも議論を続けられればよいと思っている。

【会長】

- ・まちづくりは行政だけが頑張っているのではなく、市民が一体となって同じ方向を向いてまちづくりをしていくのが大事ではないかと思う。同じ方向を向くことで、この基本構想が活用されればよいと思う。
- ・市民の方々に読んでいただける作りになるとよいと期待している。

【会長】

- ・これまでに伺った意見も含めて、答申書の取りまとめを私と富樫副会長で進め

	<p>ることを一任していただけるか。</p> <p>【全員】 異議なし</p> <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一任についてご了解をいただいた。答申を取りまとめ後、事務局を通して皆さま方に報告させていただくとともに、私と副会長で市長に答申させていただく。答申後、10月にパブリックコメントを行ったあと、最終的に市で基本構想案をまとめ、12月の市議会の議案として上程される予定になっている。 ・審議会では今後、基本計画についての審議に移っていきたいと考えているが、その前に将来の各務原市に必要な施策についてグループに分かれて意見交換の場を設けたいと考えており、よろしく願います。 <p>3 その他</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の会議の日程は11月14日火曜日、9時半から2時間程度で、場所は、本日と同じこの会議室での開催を予定している。グループに分かれての開催をしたいと思います。よろしく願います。 <p>4 閉会</p> <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって第3回各務原市総合計画審議会を終了する。
会議資料	<p>資料1 各務原市総合計画基本構想（素案）</p> <p>資料2 「各務原市総合計画基本構想（素案）」に係る修正案一覧</p>
備考	